

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上中央 放課後等ディサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 17名 (70.8%)
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名 (100%)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教育、保育、福祉の専門性を持った職員を配置していること。	複数の職員が関わり、多角的にお子さんを見ることができるようになっています。	お子さんの成長発達について根拠を持って、ご家族に分かりやすくお伝えします。
2	外部・内部研修に参加し、専門性を高めるよう努めていること。	偏りなく全職員が外部研修に参加する機会を提供しています。	職員自身が自発的に学びたいという気持ちが育つよう、成功事例を共有したり、安心して学べる環境を整えます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族と、お子さんの成長発達について共有する機会が少ないこと。	必要に応じて面談は受付していますが、計画的な面談を年1回としているため、ご家族と共有の場が少なくなっていると思われます。	保護者同士が交流する場を提供し、職員・保護者が顔の見える関係を構築できるようにします。
2	地域交流の機会が少ないこと。	活動プログラムに外出活動の機会が少なかったことが課題です。	学校がお休みの日を中心に外出活動を計画し、積極的に地域に出る機会を提供します。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上中央 放課後等デイサービス

公表日 令和 8年 3月 31日

利用児童数 令和 8年 1月 1日時点 24名

回収数 17名 (70.8%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2		1		・決して広いスペースではないので、体を動かす活動を行うには十分ではないかもしれませんが、長期休みの時には、体育館などを借りたり、近所の公園遊びを通して体を思い切り動かせる活動を提供しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	4		3	・どこの施設も仕事も職員不足があると思う。他人の子を世話することはとても大変である。皆様がストレスなく働ける人数が確保できてほしいと思う。	・配置基準は満たしていますが、送迎等により一時的に手薄になる時間帯もあります。お子さんが安心して過ごせるよう、活動や余暇の提供、送迎の工夫などしてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		1		・食堂、指導訓練室、静養室と空間を分けています。また、車イスの方でも過ごせるよう、玄関や室内はスロープやバリアフリーになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2				・玄関がバリアフリーになっているため、汚れやすい状況にあります。汚れた際はすぐに拭きとれるよう雑巾を設置したり、玄関との境界線をカラーテープで示す工夫をしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	1			・より専門的な支援を提供できるよう、職員自身の自己研鑽に努めます。・お子さんの様子を共有する際は、特性や個性に配慮し、支援の目的や結果についてもお伝えするように努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		2		・支援プログラムは、玄関への掲示、HPへの公表をしており、定期的に見直し、より質の高いプログラムを提供できるよう努めます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				・個別支援計画は、相談員が作成するサービス利用計画に基づいて作成しています。保護者との面談や日頃の共有、アセスメントを通して、お子さんに合った計画が作成できるように努めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				・活動プログラムは、5領域（運動・感覚、言語・コミュニケーション、認知・行動、人間関係・社会性）を全て網羅するように計画しております。活動内容については、毎月のおたよりを通してお知らせしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	3	4	・小学校の時はあったが、中学校になってからは無い。	・児童クラブ等との交流の機会を提供できておりませんが、地域の交流として、外出活動や合同行事であるクリスマス会、音楽イベントなどを通して、交流の機会を提供しています。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15				2	・今年度は、北上地区合同のペアレントトレーニングを実施いたしました。来年度も実施予定ですので、チラシやブログでご案内いたします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2				・お迎え時や連絡帳を通して、お子さんの様子がイメージできるよう、お伝えしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1				・保護者面談とお茶会は今年度は各1回開催いたしました。来年度も実施予定しておりますが、お子さんに関するご相談は随時受け付けております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				1	・職員自身の価値観や固定観念にとらわれず、保護者のご意向やお子さんの気持ちを汲み取った支援を心がけてまいります。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	4	・保護者同士の交流が夏にあり、参加した。	・北上地区合同のお茶会を開催し、父母だけでなく祖父母や兄弟の参加も多数ありました。来年度も企画予定ですので、是非ご参加いただければと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14		3		・活動内容や虐待、苦情窓口については毎月のお便りや、自己評価結果は年1回、HPでの公表と文書にてお知らせしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				・顔写真を掲載しないように気配りしていただいている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		1		・避難訓練（火災、地震）は活動計画に沿って定期的に行っております。 ・BCP（感染症、自然災害）についても、年1回マニュアルに沿って所内でシミュレーションや見直しを行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	1		・避難訓練があった時はお知らせがある。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				・詳しく伝えていただいている。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	2	1	・本人の気分によって嫌々があるが（基本的には休み中や休み明けなど）、基本的には楽しみに通っているように思う。本人の思いに合わせて対応していただき、感謝している。毎日、お疲れ様です。 ・楽しく通っている。 ・無回答 1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	3	1	・無回答 1	・活動プログラムは固定化されないよう、お子さまの成長発達や興味関心に合わせたものを提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	1	・これからも共有しながら成長を促していきたい。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上中央 放課後等デイサービス				公表日	令和8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・現在は車イスの利用者がいませんが、不具合なく利用いただいていると思います。 ・食堂、指導訓練室、個室が設けられています。 ・玄関にはスロープ、室内はバリアフリーとなっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて使用できるよう、2つ設けられています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年1回評価表を配布し、改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・意見や提案を発信しやすいよう、リストを常に掲示し書き込めるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・内、外の研修にまんべんなく全職員が参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・外部のツールを使い、個別支援計画を立てる際のアセスメントにしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・立案者を固定せず、複数人で担当しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・5領域が全て入るように計画しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・朝会で、当日、前日の振り返りを行っています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・終会は行っていませんが、翌日の朝会、日誌で共有しています。また、雑談の中で、当日の振り返りを行っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7					
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7					
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7					
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7				・余暇や活動の中で、自己選択できる機会を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7					
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7					
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7					
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7					
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7				・心理士から助言を頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5			・放課後児童クラブとの交流はありませんが、近所の公園で遊んだり、地区の行事に参加する機会があります。	・今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7					
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7					
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				・ペアトレに限らず、家族向けの研修や学び合いの場の提供も検討していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7					
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7					
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7					

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・父母会はありませんが、保護者同士の交流の場を設けており、兄弟も参加いただいています。	・兄弟同士で交流する機会を改めては設けていません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・大家さんを行事に招いたり、敬老訪問として近所のお宅を訪問しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・医師の指示書はありませんが、保護者から情報をいただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・活動で安全に関するプログラムを提供し、連絡帳やお便りを通してお知らせしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・対象者はいませんが、体制は整えています。		

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	ひだまり北上にこっと 放課後等ディサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域に基づいて、発達支援を行っている。	・将来的に必要性があること、また、保護者の希望をあり、社会性を養う、SST、安全、防犯を意識したプログラムを取り入れている。	・外出活動等を通じて、より実践的に社会性を養う機会を増やします。
2	・利用者さんの技術向上を図る為、実践的な取り組みを行っている。	・利用者さんの技術向上を図り、将来の可能性を広げる為、活動計画にパソコンのタイピング練習や調理活動等、実践的な活動を取り入れている。	・活動中という限られた時間以外でも、取り組める機会を作ります。
3	・公認心理士さんによる支援内容の助言を頂く機会がある。	・事業所内だけでなく、支援内容に関して、事業所職員だけでなく、外部の公認心理士による確認、助言アドバイスを頂いた。	・次年度以降も継続して取り組みます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同志で交流する機会が少ない。	・保護者同志の交流を目的とした北上地区の懇親会（お茶会）が1回のみであった。	・開催時期、開催回数を含め、多くの方が参加できるよう、企画回数や内容を検討します。
2	・外活動を行う機会が少なかった。	・平日は送迎の兼ね合いから、職員が手薄になる時間帯が発生することがある。	・午前授業や長期休暇等、職員が充実する時間にルールを決めて外活動に取り組む機会を作ります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上にこっと 放課後等デイサービス

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数

35

回収数

27

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	6	0	3	・施設の中に入る機会が少ないのでわかりません。 ・恐らく良い状態だと思っております。	・限られた空間の中で、空間を分けたり、静かに過ごす部屋、体を動かしても部屋に分けております。ご都合がよければ、室内に入っていたらき種も可能です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	6	0	5	・施設の中に入る機会が少ないのでわかりません。 ・恐らく良い状態だと思っております。 ・日頃の活動をあまり見る機会が無い為、何とも思えない。	・現在7名の職員体制で運営を行っております。保護者が不安にならないように、情報共有しながら支援していきま
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	1	1	・恐らく良い状態だと思っております。 ・車いすの方はいないが、玄関の段差は大きくつまづく子はいらぬと思う。	・玄関の段差がバリアフリーになるように改善致します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	4	0	0		事業所内では必要に応じて、パーティションで空間を分断したり、静かに過ごす部屋、体を動かしてもよい部屋と分けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	0	・恐らく良い状態だと思っております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1	0	2		事業所の活動計画は支援プログラムを総合的に網羅した内容となっています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	0	・調理活動があると、特に楽しみにしているようです。	・調理活動が土曜日中心になっておりますので、長期休暇等の平日も検討したいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	2	7	・他との交流は、子供のレベルに合わせて将来的に促していければいいと思います。 ・他との交流は、あまりないことが多いが、 ・恐らく良い状態だと思っております。 ・交流の機会はあまりない様に思える。	・夏休み活動イベント、クリスマス会イベントでゲストの方をお招きし、地域交流をしておりました。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	1	・下校時間と実績票の時間との差があり、不明なところがある。	・学校送迎ルートとの兼ね合いで、他の学校と抱き合わせてお迎えに行くことがあり、下校時間と差が生じたと思えます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	1	0	2		・今年度は北上地区事業所合同でペアレントトレーニングを行いました。案内を配布、事業所玄関に掲示いたしました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	1		・主にお迎え時に保護者に日頃の様子をお伝えしています。
保護者 への 説明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3	0	1	・面談は今年度はまだ行われておりません。時期も年度によって様々なので、だいたい良いので統一してほしいです。	・不安な気持ちにさせてしまい、大変申し訳ございません。開催時期につきまして、統一出来るようにします。また、保護者からの相談はいつでも対応できるような体制を整えています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	3	0	0		・保護者の願いや思いを話しやすいよう、連絡帳やお迎え時に様子を共有しています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	5	0	3	・現在は年1回…位の茶話会がある程度でしょうか？兄弟イベントは不明。	・今年度は1回の実績です。次年度以降、保護者懇親会を回数を増やし、保護者の方が多く参加できるように日付、時間帯で設定します。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	3	0	1	・個人的にはあまり相談をする機会が最近はありません。	・保護者の相談はいつでも受け付けておりますので、LINEやお電話を通じて日程調整し、ご相談いたします。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	3	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	1	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	4	0	0	・本人は通所をいつも楽しみにしています。学校とは違った、本人が伸び伸びと過ごせるサービスの提供を、いつもありがとうございます。 ・いつも落ち着いた様子で通所しています。	・利用者同士の関わり方、余暇支援について安心して利用出来るよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	0	0	0	・通所の利用ですが、楽しみにしています。 ・友達と過ごすことも楽しみにしています。 ・いつも、ひだまりの職員さんたちが優しく、安心できるので、ひだまり大好きと目っています。いつも丁寧な関わりありがとうございます。今後よろしくお願ひします。	・今後につきましても、より安心してりようして頂けるよう、職員一丸となり支援に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	0	0	・本人の発達や気持ちに沿って支援してくださりとでも満足しています。ありがとうございます。	・今後も本人の気持ちに寄り添いながら、より成長し発達出来るよう支援させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまり北上にこっと 放課後等デイサービス		公表日		令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・職員は現在7名体制で支援にあたっています。 ・子供の状態によっては、部屋を分けるなど工夫を行い、対応しています。	・当日職員が体調不良等で休んでしまうと、学校迎え送迎が遅くなることもある。首段から職員の健康管理、体調管理をして職務に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・段差はあるが、簡易スロープを付けたりしている。	高い所が気になって登ってしまうことが多い。掃除の物など気になって触ってしまう子もいるので、シンプルな配置など見直していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・パーテーションを使用して空間を分け、それぞれのスペースを作る工夫を行いました。 ・静かに過ごす部屋、体を動かす部屋を分けて、各部屋の使用用途を変更しました。	・利用者さんが空間の使い方の解釈が難しかった。シンプルかつ、理解しやすいルール作り表を作成します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・業務改善について意見を出しやすいように「相談リスト」を提示し、職員会議等で検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員会議に向け、職員の意見を書く用紙（何でも相談リスト）を用意することで議題に挙げ都度改善している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・事業所内の内部研修は月1回、法人としての内部・外部研修は不定期ですが、全職員が参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ガイドラインに沿い5領域を網羅するよう作成し、HPでも公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・保護者のニーズや事業所でのアセスメント、サービス等利用計画に基づき作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・個別支援会議には児童指導員も参加しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・個別の支援ファイルを作成し、支援計画についても確認出来るようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに沿いながら、総合的に発達を促す目標を設定しています。支援内容が保護者にわかり易い表現になるよう心がけています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・月ごとに担当者を変えて作成し、皆で対応している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・将来に向けてのスキル、発達を促すためのスキルなど、様々なものを取り入れてくれている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・お子さんの課題に応じて、集団、個別活動に取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝会で情報共有を行い、支援内容の確認、担当者を決めて、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・朝会で前日の情報共有を行っています。 ・日誌に気づいた点も記入しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・利用した日は、必ずケース記録を作成し、職員間で情報共有し、支援内容を話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・発達状況に合わせて、適宜見直しをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・地域交流の機会を設けることは、地域で活動するゲストを呼んだイベントを行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・活動や余暇支援の中で選択できるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者、児童発達管理責任者が会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・関係機関と連携体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・年間計画や下校時刻表を頂き、必要に応じて連絡しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・相談支援専門員を通じて情報を頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・移行先へ情報提供する体制を整えています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・こども療育センターの公認心理士さんから助言を頂き、支援に活かしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・地域の他のこどもと活動する機会について、改善が必要。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・こども支援部会、事業所部会に参加しました。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者面談や帰り迎え時に状況を伝え、共通理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・北上地区合同ペアレントトレーニングを開催しました。保護者支援向けの研修等、情報提供しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・保護者面談の機会に確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者面談の他、必要に応じて悩み相談に応じております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・北上地区の事業所合同で飯豊地区センターを使用し、保護者懇親会を開催しました。	・参加人数は少ないため、イベントなどと合わせて、集まりやすい雰囲気を作っていました。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・受付体制についてポスター掲示やお便りで周知しております。また、苦情等があった場合は責任者を中心に迅速に対応するよう心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・意思疎通が難しい方は、イラストやサイン等を使用し、意思確認を行ったり、情報を伝えていきます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・イベントにボランティアやゲストを招待しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・職員会議等で読み合わせ確認を行っています。また、玄関に常時設置し、いつでも閲覧出来るようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・定期的に確認し、保護者から情報を頂いています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・医師の指示書はないが、保護者から聞き取り、個別プロフィールへ記入し、個別のおやつを作成している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画の内容を活動計画に盛り込み、取り組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・安全計画は玄関に設置し、閲覧できるようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・シエルモデルを参考に検討し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修に参加したり、人権擁護チェックを定期的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・身体拘束については、常に職員間で協議検討しています。	・身体拘束禁止、虐待禁止の原則の元、お子さんが穏やかに安心して過ごせるよう、環境整備とサービスの質の向上に努めます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上☆きらり 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 12日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援について、疑問、不安がある時にその都度話し合える環境にある。	支援内容について定期的に確認しているのと同時に、より良い支援がある時には提案できる環境にします。	研修などで得た知識や技術などの伝達を行い、業務で実践できるようにします。
2	保護者さんのニーズに応えられるよう、必要なスキルを職員が身につけています。	利用時間内で入浴や食事介助が、安心安全にできるよう、保護者さんと情報共有を図っています。	全職員がよりよい支援が提供できるよう、各自スキルアップを常に目指します。
3	利用者に合わせた手厚い支援（医療的ケア等）の提供の実施。	看護師（3名）、作業療法士等、専門職の職員を配置しています。 随時、保護者さんとコミュニケーションをとっています。	必要であれば、主治医との連携にも努めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会が少ない。	利用者さんの状況を考えると、行事など躊躇してしまう。	安心、安全に利用者さんが参加できる行事を考えます。環境も整えます。 地域の方にも協力してもらい、一緒に行事を考えていきます。
2	保護者同士、兄弟同士の交流が少ない。	お茶会を実施しましたが、1回目が遅かったので、年度内に2回目の開催ができませんでした。	お茶会などの年間計画をたて、複数回開催を目指します。
3	社会経験の場が少ない。	感染症の心配や急変への対応が出来かねることが考えられます。	工夫できることがないか職員で話し合い、少しでも多くの経験ができるように活動計画をたてます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上☆きり 放課後等デイサービス

公表日 令和8年 3月 31日

利用児童数 8名

回収数 7名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0				
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0				
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	0				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0				
保護者への説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	0	0	1		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2			私が忙しくてなかなかですが、安心して預けられます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1		1	私は人と関わるのが苦手なので参加とかは難しい。	
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1			1名記入なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上☆きらり 放課後等デイサービス			公表日	令和8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			医療ケア児が複数利用されたとき看護師が必要と感じる。移乗、入浴介助ができる職員を増やしたほうがいいのでは。送迎、入浴中、見守りの職員が薄くなる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		おもちゃ、テーブルなど使用した都度消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		インスリンを打つ時や感染症が疑われる時、食事の時間がずれてしまった時など個室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		業務改善の意識が低い。振り返りの時間をもう少し設けられたらなおいいのでは。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者の意向に沿えるよう職員で話し合い、改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		疑問等があればすぐに話せる、話しやすい雰囲気であり、都度相談しながら進めている。職員会議等で意見交換している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修案内に目を通し。研修リストを作成、偏りがないようしている。シフト調整を行い、研修に参加できるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		相談員とも情報共有し、計画されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリングを行い、共通理解に努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員間で話し合い、目標に基づいた支援が行われている。職員会議やモニタリングで情報共有を図っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		活動計画を作成時、ガイドラインに沿うよう考慮している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		計画を回覧し職員間で話し合っている。担当者が立案して、職員全員で見直ししている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		毎月1つは新しい活動を入れている。ネット等活用しマンネリ化しないようしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		特性上個別活動が多くなっている。	集団活動を行う際時間の調整が難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼の際、本日の活動の手順などを確認している。	毎朝、朝会を行っている。活動について説明が足りない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援内容の振り返りは職員会議で行っている。送迎等によりその日に行うことが難しい為、翌日に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ご家族さんと話した内容など細かいことも記録するように心掛けている。	記録はとっているが、支援の検証、改善にはつなげていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングの際は職員全員参加し、意見交換できている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		特性上難しい場合もあるがなるべく組み合わせた内容になるよう心掛けている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		意思表示が難しい方も目線や表情をよく観察したりご家族さんに伺ったりしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		必要であれば看護師が同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		入院、退院など利用者の状況に変化がある際、医療官を交えてカンファレンスが行われた。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎の際、学校での様子を聞いたり何かある時は学校から連絡を頂いている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		相談員を通じ、情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	まだ該当者がいないが、その時は協力したい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		医療コーディネーターの方に連絡を取り、ご意見をいただいた。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	合同クリスマス会など、他事業所との交流の機会がある。	特性上難しいこともあるが、今後何らかの形で参加できる機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時など、ご家族さんとの会話を大切にしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ペアトレが実施されている。	機会や情報共有はしているが、今のところ参加者はいない。
-	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援内容についてご家族に説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		不安なことがあるかなど、コミュニケーションをとっている。	就労などにより面談の時間の確保が難しい方がいる。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		お茶会など計画実施している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情受付窓口がある。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のおたよりの発行、ブログ更新し、情報公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人ファイルなど、鍵をかけて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		連絡帳に記入すると同時に口頭でも伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	敬老の日訪問を行い、地域の方との交流を図っている。	感染症の問題から施設内に招待することはまだできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		防犯マニュアルについて周知できていないように思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に避難訓練の実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		発作時の様子や服薬管理についてご家族から情報を得ている。	送迎時などにご家族に何うようにしているがご家族判断で減薬したりしているため対応に迷うことがある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6	該当者なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		職員会議などで話し合いの場を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会による研修が定期的に行われている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		モニタリング時に話し合い、同意書をもらうときには保護者さんに説明行っている。		